

聖書に向き合う

英語による講演 (日本語通訳)

会場と
Zoom

LGBTQ+ (プラス) のキリスト者たちと

講師：ベルナデッテ・J・ブルーテン (ブランダイス大学名誉教授)

通訳：渡邊 さゆり (日本バプテスト同盟 駒込平和教会牧師)

LGBTQ+(プラス)のキリスト者は、聖書の中に希望と慰め、霊的な糧を見出しています。他のキリスト者が、聖書を根拠に、LGBTQ+(プラス)のキリスト者の教会での居場所を否定することは、LGBTQ+(プラス)のキリスト者にとって、とても辛いこととなります。私と共に聖書をより深く読み解いてみませんか。

神は人間を「男と女」(創世記1:27)に創造されたことによって、男と女の間に厳格な境界を設けられたのでしょうか。神は、同性愛の罪のためにソドムとゴモラを滅ぼしたのでしょうか(創世記19章)。思慮深きキリスト者は現代なお、成人男性との性交渉を強要される少年を処刑するような倫理観(レビ18:22、20:13)をまだ維持し続けたいと願っているのでしょうか。男性同士の性的関係を禁止している背景にはどのような倫理観があるのでしょうか。また、パウロが女性同士の性的関係や男性同士の性的関係を否定した背景にはどのようなジェンダー理解があったのでしょうか(ローマ1:27)。現代のキリスト教徒は、女性を男性に従属すべき生まれながらの受動的な存在と見なすことを望むのでしょうか。

最後に、女性が女性と結婚することに関する初期キリスト教や古代ユダヤ教の文献をいくつか紹介し、これらのテキストを理解するためのいくつかの方法を提案します。どうぞ、ご参加ください。

日時 2023年6月13日(火)18:30~20:00

会場・参加方法 早稲田奉仕園、またはZoom参加
(東京都新宿区西早稲田2-3-1)

参加費 1,500円 学生500円

申込み 早稲田奉仕園HP「Programキリスト教講座」よりお申込みください。

関西セミナーハウス活動センターご案内

2023年度 修学院フォーラム「いのち」第2回

「聖書に向き合う

LGBTQ+(プラス)のキリスト者たちと」

講師：ベルナデッテ・J・ブルーテン

通訳：渡邊さゆり

2023.6.3(土)13:30-15:50

参加費 1500円 学生500円



ベルナデッテ・J・ブルーテン Bernadette J. Brooten

ブランダイス大学名誉教授、学術博士・神学博士

ローマ世界におけるユダヤ教とキリスト教の女性史、古代地中海における女性同性愛者、初期キリスト教における奴隷制度、性的暴力について研究をしている。現在はフェミニスト性倫理研究プロジェクト(FSEP)

(<https://www.brandeis.edu/projects/fse/>)のディレクターを務める。これまで、クレアモント神学院、クレアモント大学院、チュービンゲン大学、ハーバード大学、オスロ大学、ウィリアムズ・カレッジで教鞭をとる。マッカーサーフェロシップの他、ハーバード・ロースクール、フルブライト財団、全米人文科学基金、イスラエル高等研究院などから、フェロシップ賞(功労賞)を授与されている。著作として *Women Leaders in the Ancient Synagogue: Inscriptional Evidence and Background Issues* (1982; 2020); *Love Between Women: Early Christian Responses to Female Homoeroticism* (1996; 2020)他多数。

渡邊 さゆり

わたなべ さゆり

関西学院大学
神学部神学研究
科博士課程後期
課程単位取得退
学。旧約聖書学
専攻。日本バプ
テスト同盟

駒込平和教会
牧師。